

高大連携で学問の世界へー学校設定科目「自然科学概論」

学校設定科目「自然科学概論」は、平成13年度から実施されている高大連携授業で、平成19年度は7月末に6日間の日程で行われました。自然科学の分野に幅広く触れてもらうために、本年度は、

生物分野「海洋生物の多様性を探る」

物理分野「超低温の世界を体験する」

地学分野「世界三大海成段丘を探る」

化学分野「色素増感太陽電池の作製」

4つの講座を開講しました。

生徒たちは、最新のサイエンストピックや高校の授業ではできない実験を通じて、楽しい時間を過ごすことができたようです。そして、大学の先生や大学生、大学院生との交流もこの授業の魅力のひとつです。

なお、本講座は、本年度も、科学技術振興機構（JST）のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト（SPP）の支援を受けて実施されました。

海洋生物の多様性を探る



豊旗丸に乗船して、いざ採集！



高知大学総合研究センター
海洋生物研究教育施設にて実習

超低温の世界を体験する



超伝導の実験前にまず講義



液体窒素登場！！

世界三大海成段丘を探る



室戸の御蔵洞、昔はここまで海だった



室戸岬測候所から海成段丘を観察

色素増感太陽電池の作製



安全のため、実験ではメガネを着用



ハイビスカスの色素抽出中…

成果のまとめ プレゼンテーション



ポスターを使ったまとめの時間



パソコンを使ったまとめの時間

【報告】高知西高等学校 教諭 木伏克実